

義務教育学校開校準備室だより 第1号

令和4年4月22日

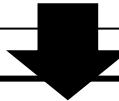
1. 義務教育学校とは？

義務教育学校は、学校教育制度の多様化と弾力化を推進するため、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行うことを趣旨として2016年から制度化された新たな学校種です。

〈特徴〉

- ・組織：一人の校長、一つの教職員組織
教員は、小学校と中学校の免許状を併有が原則
- ・修業年限：9年
- ・教育課程：9年間の教育目標を設定、小中学校の学習指導要領を準用

※文部科学省の統計によると、2016年に22校の義務教育学校の開校以来、年々増加し、2021年（令和3年）には、151校の義務教育学校が開校されています。そのうち、施設一体型が135校、施設隣接型が6校、施設分離型が8校、その他2校となっています。



令和5年度 施設分離型(現岩野小:前期課程、現水上中:後期課程)

令和6年度中 施設一体型(水上中に増改築予定)

2. 校名、校章、校歌について

4月15日 水上村総合教育会議で「校名、校章、校歌」の検討

6月 村議会議決により校名、校章、校歌の最終確定

※校章については、村内出身のデザイナーに依頼

3. 義務教育学校開校に向けた各組織について

教育委員会	水上村総合教育会議を定期的に開催し、義務教育学校設立に向けた協議を行う。
学校教育部会	3校すべての教職員を、6つの部会に分け、義務教育学校開校に向けた準備を行う。学校教育部会は、毎月開催し、作業を進める。
閉校実行委員会	学校、PTA、教育委員会、人づくり振興会議からなる閉校実行委員会を中心に、閉校に向けた準備（記念誌、記念碑、閉校式）を行う。

4. 義務教育学校開校に向けた情報公開

現在、「義務教育学校開校準備室」のホームページを作成しています。

その中で、開校に向けた進捗状況をお知らせていきたいと思います。